



令和2年10月5日 二条保育園発

気持ちの良い秋晴れが続いています。中秋の名月もスッキリと見え「あぁ秋だな～」と思わされます。先日、運動会のリハーサルがあり、幼児クラスですが、全員参加で行うことができました。

競技内容は減り、例年とは違う『密を避ける』には…と、ひとつずつの動作の確認や環境面での配慮等、盛りだくさんの内容となりましたが、暑い中子どもたちはよくがんばって取り組んでくれました。帰園後「だれが一番ワクワクしてたと思う？」と尋ねられ、「ん～だれやろなぁ」と返すと「それはボクやー！」と勢いよく答えた5歳児月組の子ども。大きくなる自分、前はできなかったけれどもコツコツとみんなで力を合わせて取り組んでできた自分、スゴイ自分！成長の手応えを感じているようです。その取り組みの中でうまくいくこと、いかないこと、幼いながらも葛藤を経験します。それを友だちと乗り越えていく時に少しずつ少しずつ、心が丈夫に育っていくのでしょうか。

園行事は成長過程での育って欲しい力がつくよう、ねらいを定めています。穏やかで単調な日常もありがたいのですが、実際の日常はそれだけではありません。友だちとの関わりの中で存分に自分を発揮し、もまれながらいろんな感情を経験し、成長の手応えを感じてもらいたいものです。



4歳児雪組、どろ団子作りがちょっとブーム。

Aちゃん「あんな、今、どろ団子作ってるねん。水道のところにあったやろ」

職員 「あっ！見たで。きれいな丸の形のお団子あったわ。あれ、Aちゃんが作ったん？」

Aちゃん「うん、もっときれいにしたいねん。あんな、Bくんはな、どろ団子の社長やねん」

職員 「社長？」

Aちゃん 「うん、ものすごく上手やねん。だから社長やねん！」

職員 「そうか～社長か、スゴいな！今度見せてもらうわ」

普段のB君の様子から黙々と丁寧に団子を作る後姿が想像でき、思わず笑えてしまう…友だちのいいところ探し上手やな、Aちゃん(笑)



令和3年度入園
申込書、京都市から届き次第、掲示
します